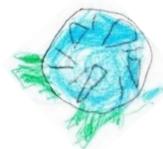


とうせい　おか
伊賀市立桃青の丘幼稚園だより
～多様な主体性を涵養する教育～

あさがお



3学期が始まり、生活や遊びも充実してきています。気温の差を感じる日もありましたが、お家の方が子どもたちの健康管理をしっかり行ってください、心身ともに元気に登園をして活動をしています。

この最終の学期は、クラスの団結を感じられる大切な時期だと思います。私たちは、いくら多忙でも1日の中で一度は職員で集まり、子どもたちの成長した姿を共有したり、何気ない会話も大切にしたりしています。その何気ない会話の中にも子どもたちの意外な一面を発見することができます。

また、遊びの様子にも変化が見られ、学級活動の姿にも成長を感じています。子どもたちの成長した姿や教育のねらいなどを発信していきたいと思います。

**ねらい：幼稚園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう
～友だちと楽しく活動する中で、共通の目的を見出し、工夫したり、協力したりする～**



5歳児の遊びの姿を年中児、年少児がさりげなく見ています。年長組の姿は、モデルとなり、その遊びが自然に広がっていきます。その知恵や試行錯誤する姿を見ながら、それぞれの年齢の子どもたちが育ちっています。年長組であっても教師は、仲間に入り、一緒に考えたり、悩んだりして解決の糸口を探ります。

協同して遊びを進めたり、ルールをつくったりしながら遊ぶ【5歳児】



4歳児の遊びにも変化が見られます。気のあう友だちとイメージを共有するようになりました。この時期、教師はさりげなく子どもたちのそばで言葉を投げかけたり、あえて見守ったりします。1人1人の姿と育ってほしいと思うねらいによってかかわりを工夫しています。

ルールを守ったり、かかわりあったりして遊ぶ【4歳児】



3歳児は、先生たちとしっかりかかわりをもち、その安心感の中で、自分の好きな遊びを選ぶようになりました。その姿を受けて、環境を再構成しました。保育室の一角には、製作コーナーを設置しました。私たち教師も子どもたちの仲間に入り、一緒に遊びを楽しんだり、時には、他者の気持ちも代弁したりします。

自分の好きな遊びを選び、友だちや先生と遊ぶ【3歳児】

教師は、子どもの仲間に入りながら、遊んだり、生活したりします。その中で、私たちが大切にしていることは、共感の

まなざしをもつことです。「なるほど!」「おもしろいね。」「それって不思議だね!」などの魔法の言葉です。

このように毎日の生活の中での言葉掛けを工夫しています。今の子どもたちが楽しめるることを豊かにしていきたいと思います。

身边な動植物に親しみをもって接し、生命の尊さに気づき、いたわったり、大切にしたりする
～栽培活動を継続して、命の食育活動を豊かにしていこう～



「いいにおいがする！」
ワイワイ調理見学【3歳児】

3歳児は、年中・年長組の活動を見てきて、自分たちもしてみたいという気持ちも芽生え、さまざまな栽培活動に挑戦しました。そっと野菜や花に水やりをする姿も見られます。私たちは、その姿を見て「ありがとうございます。」の挨拶を忘れないようにしたいと思います。

先日、ブロッコリーを収穫して「あいママ、お料理してください。」と持ってきてました。その気持ちに答えたいくらいと思い、サツマイモを加えて食べやすいサラダにしました。少し分量が多いかなと感じながら出しましたが、思いのほかたくさん食べて残食はなく、驚いたほどでした。

命をいただくことだけが食育ではありませんが、この取り組みは子どもたちの一番の楽しみのようです。



午前中、いいにおいがして、お昼に届いた野菜料理「わあ～い！」たくさん食べて大喜びでした。

うれしい気持ちは、ごちそうさまの言葉や絵を描いた手紙に変身して届きました。

料理の匂い、音を感じ、調理の工程を観察することも続けていきたいと思いました♡たくさん食べて大きくな~れ！



ねらい：人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝えあう喜びを味わう。
～この時期だからこそ充実する表現活動～

子どもたちは、絵本が大好きになりました。絵本や日常会話から、生活に必要な言葉が分かるようになったり、絵本や物語などに親しみ、言葉に対する感覚を豊かにしたりして、先生や友だちと心を通わせています。

また、今まで自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わってきました。教師は、1人1人の子どもの話を最後まで聴き、共感しながら言葉のモデルにもなってきました。自分の経験してきたことや考えたことを相手に伝えられるようになります。

子どもたちの育ちをさらに豊かにするために、現在、物語を自分の生活に重ねて表現活動を楽しんでいます。役を選んだり、必要な物を作ったり、言葉の表現を考えたりと、子どもたちのアイデアが入った音楽表現になりそうです。

この活動は、来月の参観日に見ていただく予定にしています。毎日、子どもたちがつくっていく過程が大切です。健康を保ちながら、元気に活動を続けてほしいと願っています。



劇に必要な物を作る【5歳児】



小道具・大道具づくりを楽しむ【全園児】